

# 太陽住建 × circular economy Plus



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を良くするための17の目標



株式会社 太陽住建  
Taiyo Jyuken



本業を通じた地域貢献、他団体との連携を図っています。

会社名：株式会社 太陽住建  
本社：横浜市南区  
井土ヶ谷下町6-1  
設立日：2009年10月  
資本金：1,300万円  
代表者：河原 勇輝

## ○事業内容

- ・ 太陽光発電システム販売、設置工事
- ・ 住宅リフォーム、リノベーション工事



## ・地域貢献

井土ヶ谷アーバンデザインセンター開設、消防団への加入、  
空き家活用、障がい者等の就労支援、太陽光発電設備の寄付、  
地域の祭へ出展や協賛、復興支援、学びサポート、グリーンバード 等



横浜市SDGs認証制度



横浜型地域貢献企業認定

平成25年3月～ 最上位（当時最高位）認定

平成31年3月～ プレミアム（現 最高位）認定

横浜市Y-SDGs認証

令和3年7月～ supreme（現 最高位）認定

## ・子ども達に社会経験を

地域の為に何ができるかを一緒に考え、  
子ども達に学ぶ楽しさ、協同でつくりあげることを知ってもらい、  
「働く」の視点で街を見渡すきっかけに。  
子どもの選択肢の一社となれるよう活動を継続していく。

# リビングラボとは？

行政、企業、さまざまな団体や地域住民が一体となり、地域課題の解決に向けて、問題提起や調査、解決策となる取り組みを協働で行う取り組み。



地域コミュニティスペース「おひさまひろば(井土ヶ谷アーバンデザインセンター)」でもさまざまなテーマに沿ったリビングラボを開催し、所属や団体の垣根を超えたつながりが生まれている。

**【過去の開催テーマ】**

- 働き方改革
- 空き家活用
- SDGs×教育
- 子どもや若者とつくるみんなの居場所
- 地域に暮らす子どもと教育の在り方



# YOKOHAMAリビングラボサポートオフィスについて

一般社団法人

YOKOHAMAリビングラボサポートオフィス

設立 平成30年5月 代表理事 河原 勇輝

【法人の活動内容】

- **横浜市内16拠点で開催されているリビングラボの情報共有。**
- **リビングラボで協議された新たな事業のサポート。**
- **複業希望者のマッチング。**



# サーキュラーエコノミーPlusの概念図





## ・エネルギー事業



太陽光パネル設置と架台組立て工事を  
障がい者の方々と行い工事の分野での  
雇用拡大に取り組んでいます。

## ・空き家活用プロジェクト



活用されていない空き家を  
地域の防災拠点に。  
一室には防災シェルターを設置、  
また蓄電池付き太陽光発電システム  
を搭載する事で地震が発生しても  
倒壊せず電気の供給も  
途絶えない空間を確保。

# 就労支援プロジェクト



## ・ 太陽光パネル設置工事 2018年1月

実施：社会福祉法人 紡 様

場所：横浜A高等学校





大和市環境管理センター様



20年後には発電システムを撤去する。

太陽光パネルをタイムカプセルに見立て未来への手紙を。

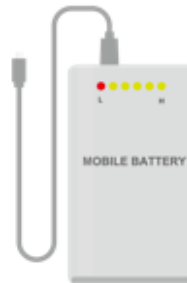
# 太陽光発電を起点とした 「近隣との助け合い」の拡大

## バッテリースキーム

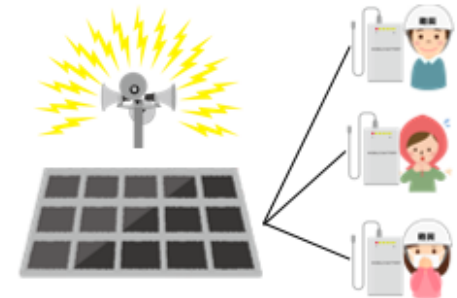
企業（個人）⇒ 近隣住民



PV既設の企業や住宅に  
モバイルバッテリー配布



モバイルバッテリー  
を配布



災害停電時に、PV充電し  
近隣に貸出し

**PVを起点に近隣や地域を助けるサービス  
(電気のおすそ分け)**

# サーキュラーエコノミーPlusの概念図



**SOLARCREW**



- ・ 最寄りの町内会館が倒壊



本来、地域の避難者を収容するべき町内会館が倒壊。  
高齢者が炎天下の中テントで生活。

## 空き家 → 地域の電気防災ステーション



×



耐震シェルター 剛建  
有限会社宮田鉄工

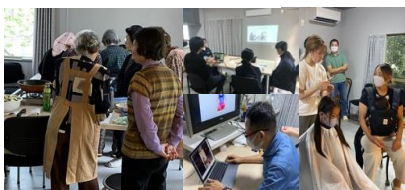
 株式会社 太陽住建  
Taiyo Jyuken

# solar crewでできること

## 3つの体験



◆つくる体験...空き家を利用してDIYの体験ができます。プロの指導の下、リフォームやリノベーションの一部と一緒に作業します。作業は自宅で自分ができるような簡単な作業から難易度の高い作業まで、スキルレベルに応じて体験できます。



◆つかう体験...遊び、学び、働く体験ができます。crewは自分たちで作り上げた拠点を活用してイベントやワークショップを開催し、また参加することができます。またコワーキングスペースとしてリモートワークの拠点としても使用できます。



◆解決する体験...空き家を含めた地域課題を解決する体験ができます。活動を通し、crewメンバー、地元住民、地元企業、行政、NPOなどつながりが生まれます。様々な分野がつながることにより空き家が、地域課題の解決を行うためのコミュニティ拠点となります。

さらにその先に...

### ◎複業ワーカー

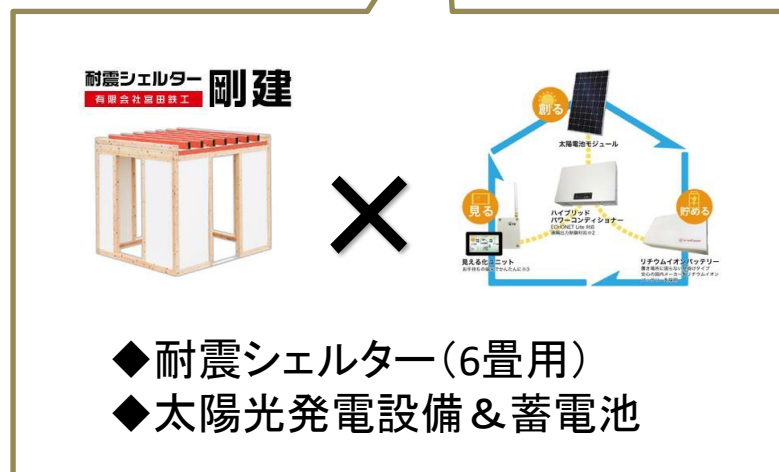
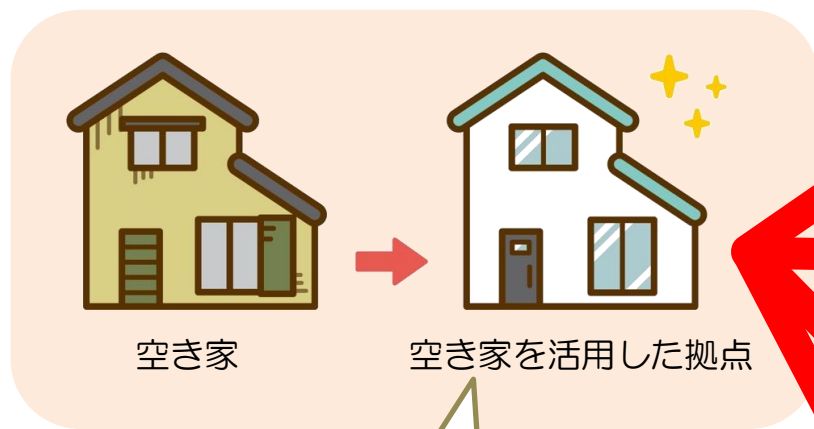
様々な地域で活動していただくことにより、地域の方との交流を通して新たなビジネスが生まれたケースもあります。

### ◎拠点管理者

拠点管理者に立候補ができます。町のキーパーソンとして拠点を活用することができます。

# 空き家×太陽光発電×耐震シェルターで地域の防災拠点化

横浜市磯子区の拠点活用例。当拠点で使用する電力は100%再エネの電力で賄っている。



## ①防災拠点

公的避難所までの移動が難しい方や高齢者の方が安全に避難可能となる。

## ②通信機器の充電

携帯電話やタブレットの充電が可能。家族との連絡や情報の入手ができるため、精神的不安の解消に。

## ③食糧の供給

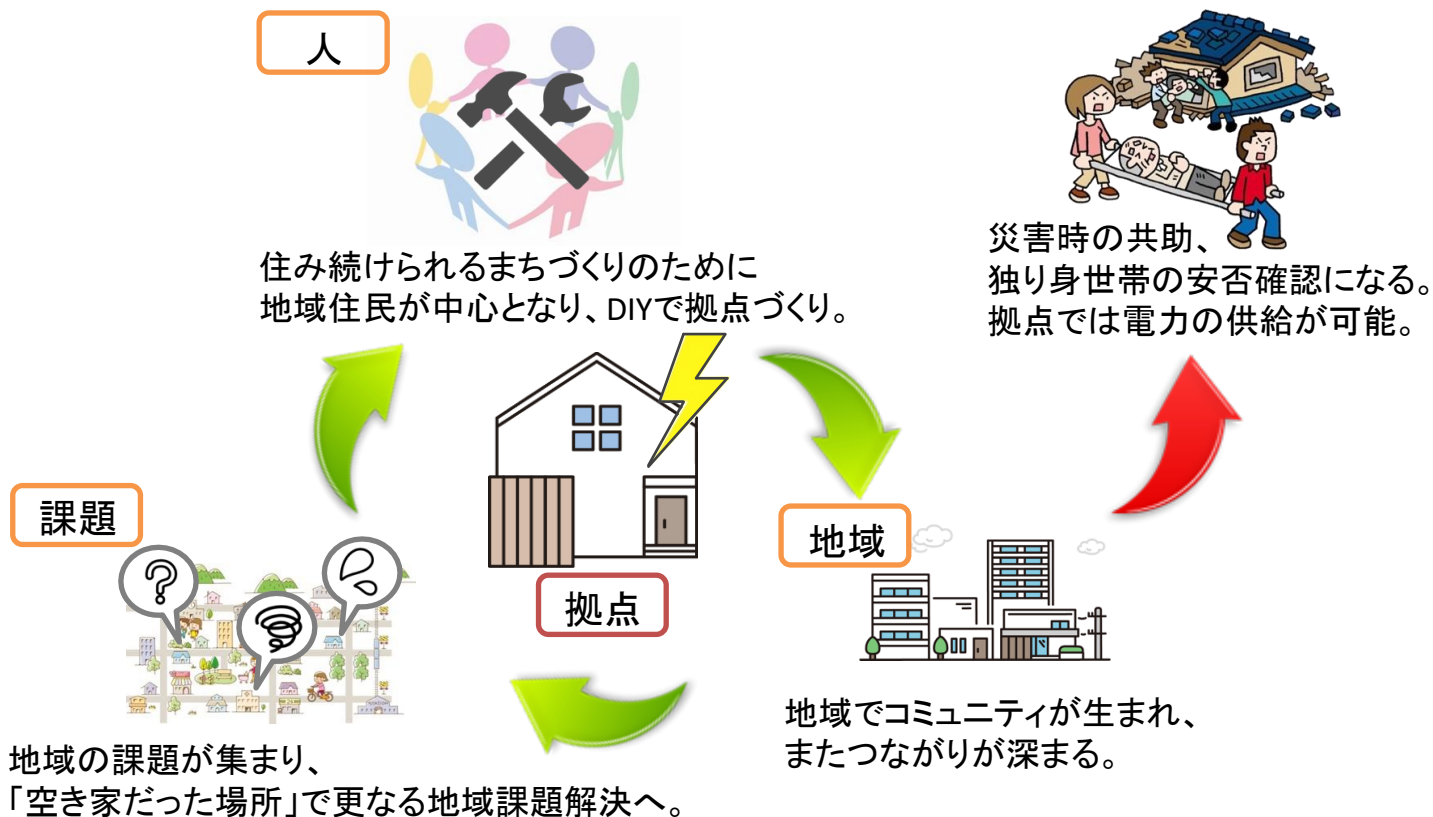
避難された方へ保存食を提供。アレルギー対応できるような保存食や粉ミルクなども検討中。

## ④飲料水の供給

避難された方へ飲料水を提供。感染症対策を考え、500mlの容量の飲料水を準備。



# 空き家活用がもたらす影響



**solar crew**はSDGsのゴールのうち7つのゴールに取り組んでいます。  
この活動を通じて「交流人口」⇒「関係人口」と変えていきます。



# メディア出演・掲載歴



2021.7.16 SUUMOジャーナル



2021.6.2 Live News α(FNN)



2021.3.20 ハマナビ(tvk)



2021.4.30 読売新聞



2021.3 NIKKEI ASIA(国際版日経新聞)



2018.10.1 朝日新聞

## 【その他】

地方新聞 多数

J-WAVE 81.3FM

ZIP-FM 77.8



SB HAKUTEN

IDEAS FOR GOOD  
社会をもっとよくなる世界のアイデアマガジン

2021.9現在

# 第8回 グッドライフアワード 環境大臣賞



# サーキュラーエコノミーPlusの概念図



# 「green bird」を通じた多世代の繋がり



杉田駅周辺



磯子駅周辺



井土ヶ谷駅周辺



蒔田公園周辺

# 「green bird 横浜南」の繋がりと拡がり

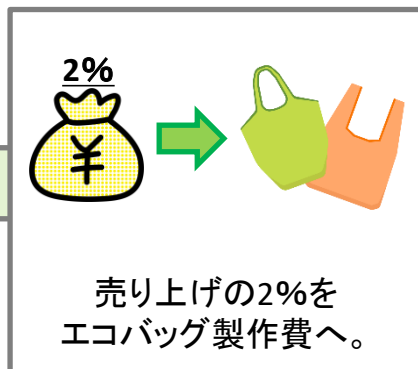


## ・マイクロプラスチック



小学校での授業。マイクロプラスチックの多さにみんなビックリ、、、

## タイアップ企画 プラスチックゴミからつくる横浜型エコバッグ



### 協力会社様のメリット



自動販売機の設置、入れ替えによってSDGsへの取り組みとなる。

- プラスチックゴミの削減及びリサイクル。[11,12]
- ゴミ拾いを通じた環境保全意識の向上。[14]
- 協働事業でSDGsに取り組む。[17]

# サーキュラーエコノミーPlusの概念図





# 横浜立日枝小学校との取り組み



その後、地域に愛される居場所づくりとし「おひさまひろば」の内装仕上げを依頼。  
小さな子どもからお年寄りの方までをつなげたい一心で、クラス全員で床磨き&ワックスがけに挑戦。



次なる取り組みとして、会社外壁に設置する看板のデザインを考えてもらうことに。

# 横浜国立大学との取り組み

横浜国立大学 都市科学部 × 横浜市 政策局

社会デザイン・フューチャーセッション

「地域社会をリデザインする」 ～リビングラボの在り方を契機として～

全12チームに分かれてヒアリング。  
空き家・コミュニティスペースが  
どうあるべきかの意見を交え、発  
表。

開催期間：2018年8月7日～8月10日(計4日  
間)



## ヒアリング対象

- ・ 区役所
- ・ 教育機関
- ・ 市民活動団体
- ・ 地元情報機関
- ・ 地域企業
- ・ 地域住民



# 横浜市立大学との取り組み

CSR横浜 × 富士ゼロックス株式会社「志プロジェクト」  
CSR報告書製作  
製作：横浜市立大学 影山ゼミ

複数回の取材と  
インタビューを経て、  
横浜市立大学生による  
CSR報告書が完成。



# サーキュラーエコノミーPlusの概念図



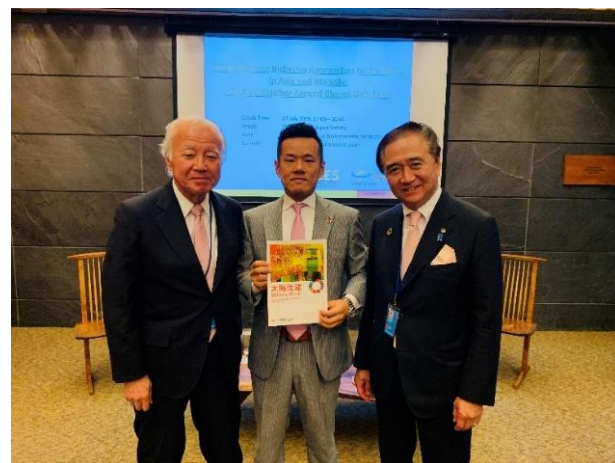
# 国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF）

2019年7月 NYで開催されたHLPFに登壇。

サイドイベントにてSDGsレポートを発表しました。



HIGH-LEVEL POLITICAL FORUM  
ON SUSTAINABLE DEVELOPMENT



## 太陽住建 SDGsレポート

地域とともに創る、誰ひとり取り残さない  
持続可能な社会



株式会社 太陽住建 IGES  
Taiyo Jyukuen

2019

表紙は「NPO法人ぷかぷか」で働く障がいを持つ方々が、太陽住建のイメージを絵で表現したもの。

「NPO法人ぷかぷか」は弊社の障がい者雇用支援パートナーであり、太陽光設置時やイベント時のケータリングなどでご協力いただいています。

※SDGsレポートは弊社HPよりご覧いただけます。

# 国連 Energy Compactsに弊社の取り組みが承認されました。



9月23日(木)、公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)様の協力により、国連のEnergy Compactとして弊社の取り組みが承認されました。

太陽光発電による再生可能エネルギーの普及と同時に、福祉避難所や自社で取り組む空き家を活用し全拠点への太陽光発電設備導入、さらに設備設置に関しては障がい者の就労支援を進めています。

掲載ページはこちらをご確認ください。

原文 : <https://www.un.org/en/energycompacts/page/registry#TaiyoJyukenandIGES>

日本語版 : <https://www.taiyojyuken.jp/info/3035.html>

## Taiyo Jyuken and IGES



### ENERGY COMPACT SUMMARY

#### Local resilient solar community development by local SMEs

- Taiyo Juken commits to install 19,440kW solar power at social welfare facilities by 2030 in Yokohama that is equivalent to 12.15% of Yokohama city's target
- Taiyo Juken commits to develop 56 community spaces utilizing vacant houses by 2030 (8 in 2020)
- Taiyo Juken commits to report her progress annually.



Download Compact



Energy Compact - Taiyo Jyuken and IGES: Local resilient solar community development by local SMEs

原文



日本語版



# ご清聴有難うございました

太陽住建はお客様の「頼んで良かった！」の声に  
応え続け**100年企業**を目指して参ります



**0 1 2 0 - 4 6 0 - 0 2 5**

